

## 事務報告 1

### 平成 28 年 2 月県議会定例会の概要について

2 月県議会定例会の概要は、次のとおりであった。

#### 1 日 程

2月18日(木)	本会議(招集)
2月25日(木)～3月2日(水)	本会議(代表質問・一般質問・質疑)
3月3日(木)	休 会(常任委員会)
3月4日(金)	本会議(採決:補正予算等)
3月7日(月)～3月18日(金) (3月16日(水))	休 会(予算特別委員会) 予算特別委員会(教育委員会審査)
3月22日(火)	休 会(常任委員会)
3月23日(水)	休 会(東日本大震災津波復興特別委員会)
3月24日(木)	本会議(採決:当初予算等)

#### 2 招 集

招集日において、本会議冒頭に委員長から平成 28 年度教育施策についての演述を行った。

#### 3 代表質問・一般質問・質疑

##### (1) 党派別質問人員数

改革岩手	5人
自由民主クラブ	4人
いわて県民クラブ	2人
創成いわて	2人
日本共産党	1人
社民党	1人
公明党	1人

##### (2) 代表質問(教育委員会関係)

ア 佐々木 順一 議員 1件

(ア) 新有権者に対する主権者教育の在り方について

イ 工藤 勝子 議員 3件

(イ) 教育理念と県立高等学校再編計画案について

- ① 教育理念について
- ② 小規模高校のあり方について
- ③ 今後の対応について

ウ 中平 均 議員 2件

(ウ) 人材育成について

- ① 新たな県立高等学校再編計画(案)について
- ② 奨学金について
  - a 給付型の奨学金について

(3) 一般質問（教育委員会関係）

ア 郷右近 浩 議員 1件

(ア) 国体を契機としたスポーツ振興について

① スポーツ医・科学サポートについて

イ 高橋 孝眞 議員 1件

(イ) 障がい者及び高齢者福祉について

① 県立花巻清風支援学校の分教室設置について

ウ 軽石 義則 議員 6件

(ウ) 雇用の確保と人材育成について

① 県内専門高校の就職状況等について

a これまでの入学並びに就職などの現状等について

b 指導者の不足について

c 現場に対応できる実習機器の更新整備について

② 奨学金制度における課題について

a 奨学金の利用に係る適切な指導について

b 奨学金の返済に係る課題等について

③ 労働環境の現状と課題等について

a 県内における労働環境の改善について

エ 佐々木 宣和 議員 1件

(エ) ICT（情報通信技術）の利活用について

① プログラミング教育の必要性について

オ 千葉 絢子 議員 5件

(オ) 教育について

① 子どもたちの学習の現状と教育ビジョンについて

② 学力向上について

③ 35人以下学級の拡充について

(イ) 若者・女性の活躍について

① キャリア教育について

【再質問】学力向上について

カ 斉藤 信 議員 2件

(カ) 深刻ないじめ事件の教訓と高校再編問題について

① いじめ問題について

② 高校再編計画について

キ 工藤 誠 議員 5件

(キ) 県立高校再編計画について

① 地域の理解について

② 後期計画の方向性について

③ 縄文遺跡群の世界文化遺産登録について

a 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」取り下げによる影響について

b 登録に向けた今後の見通しについて

c 機運醸成の取組について

ク 木村 幸弘 議員 1件

(ク) 保健・医療・福祉施策について

① ヘリポート整備方針決定に係る教育委員会の対応について

ケ 小野寺 好 議員 6件

(ア) 教育行政について

- ① 学校の統廃合について
- ② 本県生徒の学力と進学支援について
- ③ パソコン、スマートフォン等の影響について
- ④ 教える側の体制整備について
- ⑤ 生活に関わる法律の習得について

(イ) 18歳選挙権について

- ① 学校における政治的活動について

(4) 答弁

答弁は、知事、委員長及び教育長が行った。

#### 4 予算特別委員会の審議

(1) 総括質疑

次の委員から質問があり、知事及び副知事が答弁した。

ア 高橋 元 委員 1件

(ア) 県政運営について

- ① 特別支援教育の充実について

イ 名須川 晋 委員 4件

(ア) 県政運営について

- ① 次代につなぐ若手選手たちの育成、スポーツ行政の推進等について

(イ) 国体の成功、「国体・大会プラス」など大会を盛り上げる取組について

- ① 国体入賞への意気込みについて

(ウ) 日本遺産への対応について

- ① 平泉町の日本遺産申請について
- ② 支援体制について

ウ 工藤 勝博 委員 1件

(ア) 冬季大会の成果と本大会に向けた準備状況について

- ① 冬季国体の次回開催に向けて

エ 五日市 王 議員 3件

(ア) 教育について

(イ) 少人数学級について

(ウ) カーリング施設について

オ 臼澤 勉 議員 1件

(ア) 教育の質の向上について

(2) 教育委員会審査

ア 教育長から議案第7号「平成28年度岩手県一般会計予算」のうち教育委員会関係について及び議案第47号「高等学校生徒等修学等支援基金条例の一部を改正する条例」について説明を行った。

イ 次の委員から質問があり、委員長、教育長及び関係課長が答弁した。

○ 佐々木 順一 委員

- ・ 主権者教育・政治教育への対応策について
- ・ 小中高の各段階における主権者教育充実の具体的対応策について
- ・ 昭和44年の文部省通知の廃止について
- ・ 政治活動の届出制に対する県教委の対応について
- ・ 教員の政治的中立性について

- ・ 現在の検討状況について
- ・ 学級減の計画を示すことについて
- ・ 再編計画に係る今後の対応について
- ・ 再編計画への理解を深める取組について
- 嵯峨 耆朗 委員
  - ・ 前回の再編計画との違いについて
  - ・ 具体的な内容の提案の仕方について
  - ・ 再編の考え方の違いについて
  - ・ 再編対象の地域からの反応について
  - ・ 再編案の見直しの可能性について
- 飯澤 匡 委員
  - ・ 平泉文化研究機関設置の検討状況について
- 関根 敏伸 委員
  - ・ 高等部への入学者の推移と卒業後の進路状況について
  - ・ 県立高校における特別な支援を必要とする生徒数の推移と卒業後の進路状況について
  - ・ 高等部における入試や教育課程、学科設置の検討状況について
  - ・ 県立高校での特別支援教育の体制づくりについて
  - ・ 高等部等卒業後を見据えた「自立」と「働く力」に向けた取組状況について
  - ・ 技能認定制度の方向性について
  - ・ 地域検討会議や説明会の意見集約と反映状況、パブコメの状況と分析について
  - ・ 望ましい学校規模、1 学年 2 学級、特例校設定の基準の整理について
  - ・ 地域との連携の充実にに向けた取組の方向性について
  - ・ 地域と一体的に再編のあり方を検討する組織の設置について
- 岩崎 友一 委員
  - ・ 県全体の取組状況について
  - ・ 被災地と内陸部の学校の交流の状況について
  - ・ 取組の成果と今後の課題について
- 工藤 勝博 委員
  - ・ 平成 28 年度高校入試の出願状況について
  - ・ 農業に関する学科の環境整備について
  - ・ 今年度の発生件数と処分状況について
  - ・ 教育現場の状況について
  - ・ 国体終了後の施設の活用について
- 佐々木 朋和 委員
  - ・ 指定管理者制度を導入しての総括について
  - ・ 資料費について
  - ・ 市町村立図書館の支援について
  - ・ キャリア教育について
  - ・ 職場体験の日数の増加について
  - ・ 勉学、スポーツ、キャリア教育の健全な配分について
  - ・ 商工労働観光部との連携について
- 福井 せいじ 委員
  - ・ 「みんなで教振！ 10 か年プロジェクト」の目的と活動の成果について
  - ・ 「みんなで教振！ 5 か年プラン」の目的と活動について
  - ・ 大槌学園、吉里吉里学園開校の背景と目的について
  - ・ 本県における今後の小中一貫教育の取組の方向性について

- 千葉 絢子 委員
  - ・ 中学2年生への拡充に伴う教職員の配置等に係る人数、人件費への影響について
  - ・ 少人数学級実施に係る教室不足の実際について
  - ・ 小学4年生まで拡充していることに伴う教職員の増員と財政負担について
  - ・ 小学6年生まで拡充できないことについて
  - ・ 「いわて未来創造人サポート事業」と「学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業」の違いについて
  - ・ 人材育成の観点によるキャリア教育の認識と方向性について
  - ・ グローバルいわて推進事業費のイングリッシュ・キャンプについて
- 城内 よしひこ 委員
  - ・ 復興発掘調査による埋蔵文化財の出土量と今後の見通しについて
  - ・ 今後の活用について
  - ・ 派遣職員の活躍と出土文化財の活用について
  - ・ 公民館活動の状況について
  - ・ 今年度の取組と今後について
  - ・ いじめ対策について
- 佐々木 宣和 委員
  - ・ 女性に特化した取組等について
  - ・ 競技団体における女性役員の割合について
  - ・ 女性スポーツの環境整備について
- 高田 一郎 委員
  - ・ 事件に関する所感について
  - ・ 岩手県内における推薦基準について
  - ・ 超過勤務の実態と今後の取組について
  - ・ 勤務時間の正確な把握について
  - ・ 運動部活動のあり方について
  - ・ 被災した学校の再建状況について
  - ・ 被災地における児童の体力の状況について
  - ・ 学校施設の点検、改善状況について
- 木村 幸弘 委員
  - ・ 震災の影響を受けた高校生の学校不応適等への相談支援体制整備について
  - ・ 遠隔授業推進事業の調査研究について
- 千田 美津子 委員
  - ・ 特別支援学校高等部の現状について
  - ・ 障がいのある人もない人も共に学び共に生きる岩手県づくり条例について
  - ・ 教室不足について
  - ・ 県内のいじめ・不登校の現状について
  - ・ いじめ対策の徹底とその現状について
  - ・ スクールソーシャルワーカーの配置とその成果について
  - ・ ブロック毎の学級数調整の考え方について
  - ・ 学級減の計画を示した再編計画の在り方について
  - ・ 再編計画の視点について
- 吉田 敬子 委員
  - ・ 文化活動、部活動支援の取組の成果や課題について
  - ・ 来年度の新規事業について
  - ・ 運動部活動に対する支援の成果や課題について

- ・ 高等学校におけるライフプランニング支援について
- 白澤 勉 委員
  - ・ 現在の検討状況と今後の対応について
  - ・ 地元との協議状況と今後の対応について
  - ・ インクルーシブ教育の推進について
  - ・ 困難事案の現状と対応について
  - ・ 複雑化・多様化した課題解決のための体制について
  - ・ 教員需要と退職者数の見通しについて
  - ・ 戦略的な教職員定数の改善について
  - ・ 理科教育の推進について
- 千葉 進 委員
  - ・ 期限付臨時任用教職員数について
  - ・ 新規採用者数について
  - ・ 採用にあたっての変遷について

## 5 商工文教常任委員会

### (1) 3月3日開催

#### ア 議案の審査

田村教育次長から議案第84号「平成27年度岩手県一般会計補正予算」のうち教育委員会関係について、提案理由の説明を行った。

斉藤委員及び小西委員から質問があり、教育長及び関係課長が答弁した。

原案のとおり可決された。

#### イ その他（この際発言）

名須川委員、ハクセル委員、千葉（進）委員、斉藤委員及び小西委員から質問があり、教育長、川上教育次長及び関係課長が答弁した。

### (2) 3月22日開催

#### ア 議案の審査

田村教育次長から議案第1号「平成27年度岩手県一般会計補正予算」のうち教育委員会関係について、提案理由の説明を行った。

斉藤委員及び小西委員から質問があり、関係課長が答弁した。

原案のとおり可決された。

次に、藤岡義務教育課長から議案第71号「学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例」について、提案理由の説明を行った。

原案のとおり可決された。

#### イ その他（この際発言）

千葉（進）委員、ハクセル委員、工藤委員、斉藤委員及び小西委員から質問があり、教育長及び関係課長が答弁した。

## 報告 1

盛岡市立高等学校の学科廃止の認可に係る専決処理の報告について

次のとおり、盛岡市立高等学校の学科廃止の認可について平成28年3月31日専決処理したから、報告する。

### 第1 趣旨

盛岡市立高等学校英語科について、学校教育法第4条第1項の規定により、盛岡市教育委員会より岩手県教育委員会へ廃止の認可申請があり、これを専決処理したものである。

### 第2 認可の概要

#### 1 廃止する学校等

盛岡市立高等学校英語科（定員25名）

#### 2 廃止の事由

盛岡市立高等学校英語科については、定員割れの状況等の理由から、廃止を前提に平成26年度から募集が停止されている。平成25年度の入学者が卒業する平成27年度末をもって廃止したものの。

#### 3 廃止時期

平成28年3月31日

#### 4 認可年月日

平成28年3月31日

平成28年4月18日提出

岩手県教育委員会教育長 高橋 嘉行

議案第 1 号

岩手県文化財保護審議会委員の任命に関し議決を求めることについて

次のとおり岩手県文化財保護審議会委員の任命をすることについて、議決を求める。

任命（平成 28 年 5 月 1 日付）

職 名 等	氏 名
元一関市博物館副館長	大 島 晃 一
元花巻市博物館学芸員	小 原 茂
建築装飾技術史研究所所長	窪 寺 茂
岩手大学教授	佐 藤 由紀男
一戸町御所野縄文博物館館長	高 田 和 徳
仙台市博物館主幹	高 橋 あけみ
岩手大学教授	土 井 宣 夫
佛教大学非常勤講師	中 嶋 奈津子
岩手県立大学教授	平 塚 明
東北歴史博物館主任研究員	政 次 浩
元財団法人石川啄木記念館学芸員	山 本 玲 子

平成 28 年 4 月 18 日提出

岩手県教育委員会教育長 高 橋 嘉 行

理由

岩手県文化財保護審議会委員の任命をしようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。



## 岩手県文化財保護審議会委員（案）

(H28. 5. 1～H30. 4. 30)

分野	現職	氏名	年齢	性別	居住地	年数	兼任
学識 経験者	元一関市博物館副館長	大島 晃一	63	男	一関市	4期	
	元花巻市博物館学芸員	小原 茂	61	男	八幡平市	2期	
	建築装飾技術史研究所所長	窪寺 茂	64	男	奥州市	2期	
	岩手大学教授	佐藤 由紀男	58	男	盛岡市	4期	
	一戸町御所野縄文博物館館長	高田 和徳	66	男	一戸町	新任	
	仙台市博物館主幹	高橋 あけみ	54	女	仙台市	3期	
	岩手大学教授	土井 宣夫	64	男	八幡平市	3期	
	佛教大学非常勤講師	中嶋 奈津子	51	女	盛岡市	2期	
	岩手県立大学教授	平塚 明	63	男	盛岡市	2期	
	東北歴史博物館主任研究員	政次 浩	50	男	仙台市	3期	
	元財団法人石川啄木記念館学芸員	山本 玲子	58	女	八幡平市	2期	

チェック項目	前回	今回
◎ 委員数【16人以内】	11人(新任5人)	11人(新任1人)
◎ 男女共同参画の推進に配慮【男女いずれか一方の数が総委員数の40%以上】	27.3% (3/11)	27.3% (3/11)
◎ 若手委員(50歳未満登用率【25%以上】)	18.2% (2/11)	0% (0/11)
◎ 委員の平均年齢	57.0歳	59.2歳
◎ 在任期間8年超	なし	なし